

暮らしを支える地域公益活動を紹介します。

# キラリ★社会福祉法人☆

## 加西市社会福祉法人連絡協議会

(ほっとかへんネット加西)

災害時の対応について  
議論を交わす参加者ら  
～図上訓練の様子～

## 災害時における福祉ネットワークの構築

加西市内14の社会福祉法人が連携し、平成29年10月に設立された「ほっとかへんネット加西」は、乳幼児から高齢者、障害者などすべての人たちが安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

今回は、住民の拠り所となるべく進める、数ある取り組みから「災害時における福祉ネットワークの構築」に焦点を当てて紹介します。



### 施設間で支え合う「災害時相互応援協定」

近年、各地で地震や豪雨などの自然災害が相次いでいる。ほっとかへんネット加西では、「発災時に各福祉施設が、サービスの利用者や地域住民の拠り所となれるよう支援体制を整える」ため、平成30年度に支援体制づくりに取り組み始めた。

まず、発災直後は行政や公的機関からの支援が届きにくいという認識のもと、施設間相互の応援・協力体制の構築に着手。市内の福祉施設が浸水したことを想定した演習や災害の図上訓練を実施し、どのような応援・協力ができるのか話し合いを重ねた。

その結果、利用者の一時受け入れや職員の派遣、物資の提供など、利用者の安全確保と施設の安定的な運営について施設間で支え合う「災害時相互応援協定」として取りまとめ、平成31年3月に締結した。

また、市役所と協力して福祉避難所設置訓練や段ボールベッドの組み立て訓練を行うなど、福祉的支援が必要な住民の受け入れを想定した取り組みも進めている。

### 共有しやすい防災マニュアルづくり

前述の「応援協定」に基づき、災害時に応援する場合、される場合ともに、施設ごとに防災マニュアルの内容が大きく異なっているのはスムーズな支援につながらない。そこで、ほっとかへんネット加西では4つのカテゴリ(高齢者入所施設、保育施設、障害者施設、在宅・通所施設)に分けて、ほぼ統一した内容の防災マニュアルの作成を進め、今後の活用を目指している。

### 〈防災マニュアル 項目の一例〉

目的、想定される被害、施設の災害対応組織、緊急時の連絡体制及び参集基準、関係機関や地域との連携 など

ほっとかへんネット加西の蓬莱会長は、「災害時の体制づくりは、社会福祉法人が力を合わせて重層的に取り組むことで利用者や地域住民の安心・安全につながる。今後も、防災をはじめ、地域における様々な公益的な取り組みを行い、住民の安心の拠り所として、ほっとかへんネットが市の地域福祉計画に位置付けられるよう働きかけたい」と思いを語った。

段ボールベッドの組み立て方法、  
使い方を学ぶ



ほっとかへんネット加西  
事務局：社会福祉法人加西市社会福祉協議会  
TEL：0790-42-8888